令和６年　３月園だより

小屋浦みみょう保育園

一年を振り返り
子どもたちの育ちを喜び合う

先月開催の今年度最後の参観日では、子どもたちの姿を間近で見て、成長を感じていただけたことと思います。進級、卒園まで１か月となり、どのクラスの子どもたちも、自信に満ちた生き生きとした表情で、自分の好きなこと、夢中になっているものを表現していました。

年長児は、友達や保護者の方に見守られながら、自分の得意なこと、頑張っていることを発表しました。こま回し、けん玉、縄跳びなどを「あや跳びを８回跳ぶ！」「こまをバケツの上で回す！」など、自分で目標を設定し、その目標を達成するまでは諦めずに、できるまで何度も挑戦し続けました。目標を達成すると、保護者からも子どもたちからも、大きな拍手が起こり、発表した子は、安心したと同時に、達成感を味わい、誇らしい表情を浮かべていました。自分が発表しているとき、友だちの発表を見守るとき、どちらも子どもたちの集中力は素晴らしいものでした。頑張っていることを認めたり、失敗しても信じて待つということが、子どもたちの自己肯定感を高めたり、次への意欲を持つことにつながっていくのだと思います。

参観後に、小屋浦小学校の香川校長先生より「つながる」というテーマで、ご講演いただきました。地域、学校、保育園とが、どんなふうにつながっているのか、小学校の中でのつながりなど、見通しが持てるようなお話を伺うことができました。保育園、乳幼児期にしておくこと、などについて校長先生ご自身の子育ての中で心がけていらっしゃったことのお話しを聞きながら、「つながる」ためには、まずお互いのことを「知る」ところから始まっていくのだと改めて感じました。一年一年は、途切れることなく確実につながっています。１年後、２年後・・の子どもたちの姿を想像しながら、いろいろな人や物と、つながりながら子どもたちの育ちを支えていきましょう。

様ざまな力が身につく乳幼児期をどんな風に過ごしていくのかが、子どもたちの将来にとって大変重要になります。子どもたちを愛おしいと感じ、受容することから始まり、子どもたちが自ら心や体を動かすことができる環境や人や物との関係性を作っていくことが、自らやってみようとする主体性を伸ばしていく土台となるのではないかと思います。主体性を伸ばすために、家庭でできることの一つとしては、いろいろな考え方を持った一人の人間としてお子さんと向き合い、お子さんが話しかけてきたときには終わりまでしっかり聞いて、足りないことは示してあげ、自分で判断するようにしてあげることが大事だと思います。園でも子どもたちが友達との話し合いの中で自分が考えたことと違う考え方や価値観があることに気づき、それをお互いに認め合うことで自分自身の考え方が広がり、それが多様性を認めることにつながり、自分がやってみたいことに意欲的に取り組むようになっていきます。

４月には進級、就学を迎えるお子さんの成長したところを見つけ、できるようになったところをお子さんと語り合い、共に喜び合いましょう。一年を振り返りながら新しい一歩を自信をもって踏み出せるように支えてあげてください。一年間、保育園の運営にご理解、ご協力いただきありがとうございます。　　園長

おおきくなったね

「ぴぃーちゃん！」
いつも声をかけてます

ともだちと・・が楽しくなってきたね

夢中になれることがふえて・・

お散歩の達人になった！？
足に力を入れて
下り坂も大丈夫

まねっこ遊びも
大得意よ！

継続は力なり
縄跳びにチャレンジ

学校ごっこ

４月が　たのしみ～

なかまと一緒だと
なんでもできる　なんでもたのしい

卒園式

日時：１６日（土）午前１１時より
場所：１階ホール

年長ひまわり組の１２名の子どもたちの門出を祝って心を込めてお祝いしたいと思います。

一人一人の子どもたちの思い出に残る式となり、保護者の皆さまと成長を確かめ合うひと時になればと思っています。

保護者アンケートを終えて

お忙しい中にもかかわらず、アンケートにご協力いただきありがとうございます。様々なご意見、ご要望をいただきました。

●毎月の配信した写真について・・個人情報となるので取り扱いについての注意喚起があってもよいと思う。
⇒３月末に、プリントを配布し、データの取り扱いにについて注意喚起をします。

●乳児クラスの行事について運動会はあるが、生活発表会はない、などというのをどちらもある又は、どちらもなしというように統一してはどうか。乳児クラスの運動あそびの会は月齢によっては楽しみきれない気がする。
⇒参観日など行事についてのご意見につきましては職員間で検討しながら例年通りではなく保護者の方が参加しやすく、より子どもたちの成長を感じられるものとなるようにしていきたいと思います。

他にも保育園の良いところなども記入していただき職員の励みにもなりました。

アンケートの結果は保育園の評価でもあると真摯に受け止め、保育を振り返り、より充実した信頼される保育園の運営を目指していきたいと思います。